

やよい

第100号

平成24年7月27日
編集兼発行
弥生公民館
広報部
金沢市弥生1-29-13
TEL 241-1329

主だった記事

館報やよい創刊

昭和48年3月10日創刊

1973年

公民館とは何か

コミュニティーセンターとしての役割 1981年

若い世代からみた老人感

65歳以上が9.9%

1989年

真新しくなった公民館

複合館(公民館・児童館・老人憩いの家)の誕生 1990年

さよなら! 气象台

明治41年5月~平成3年10月

1991年

館章制定(シンボル)

松田良三氏の考案

1992年

健康は宝物、あなたも歩きませんか

幸せは健康から

1993年

三世代交流

出合い、ふれ合い、学び合い

1994年

本格的な高齢化社会(14%)に対応

ライフスタイルを変えよう

1995年

さくら公園 開園

みんなの公園誕生

2000年

公民館50周年

2005年

やってみよう!「省エネ家計簿」

CO₂削減チャレンジシート

2009年

館報奨励賞受賞(金沢市)

第47回金沢市公民館大会で表彰

2010年

弥生から被災地にエールを送る会

みんなで手をつなぎ

2011年

館報は100号に到達しました。

館報やよいは昭和四十八年三月十日に創刊され以来四十一年を経過しました。この間、各層を問わず多くの方々から熱意に満ちた投稿をいただき、百号を迎えました。発刊当初から弥生の歴史を保存しようと記録紙としての考え方で継続してきましたが、ここ数年前から誰もが親しみ、目を通せるようにとカラー化し写真も多用して来りました。

既刊の館報を振り返って見ますと、その年代、時期に応えるように、読者の関心を頂けるようなシリーズもの(弥生の歴史、くらしの移りかわり、弥生の今昔、社寺・樹木、わがまち)など古老(年輩)の方々の記憶や古文書を受け、貴重な意見も組み入れ、また順次増えた各サークルの活動内容も適宜取り入れ、充実した館報となりました。

①美しい日本語 ②臨場感の伝わる豊かな表現 ③周囲への気遣い ④高齢化社会、環境問題など、先を見越した事業説明 ⑤モノクロ写真による大胆な構成と文章 ⑥全体に伝わる優しさ、温かさ、緻密さなど、館報に携わった校下の方々、広報の方々に感謝の意を表します。少しでも諸先輩に近づけるよう、微力ながら我々も頑張ります。

さて百号は、新たに三テーマの特集を企画しました。

- ・金沢气象台とさくら公園
- ・三大事業 今と昔
- ・地域との連携(学校と公民館)

これからも皆様から投稿、ご意見をいただき、更なる広報紙にしたいと願っております。

(広報部一同)